

彼女たちは歌う

Listen to Her Song

2020.08.18 TUE

2020.09.06 SUN

東京藝術大学美術館陳列館
The Chintetsukan Gallery
Tokyo University of the Arts

12:00-18:00
月曜休館・入場無料
Closed on Mondays



公益財団法人 花王 芸術・科学財団



Mayuko Inui

乾 真裕子



Mai Endo

遠藤 麻衣



Mika Kan

菅 実花



Insook Kim

金 仁淑



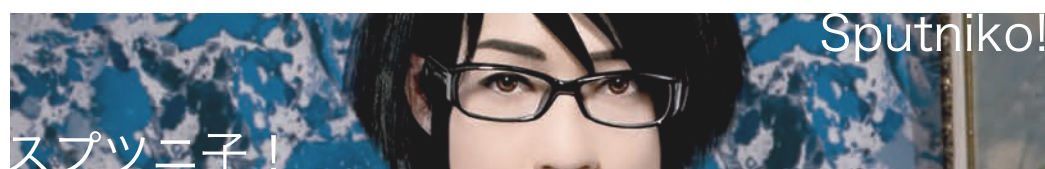
Tomoko Konoike

鴻池 朋子



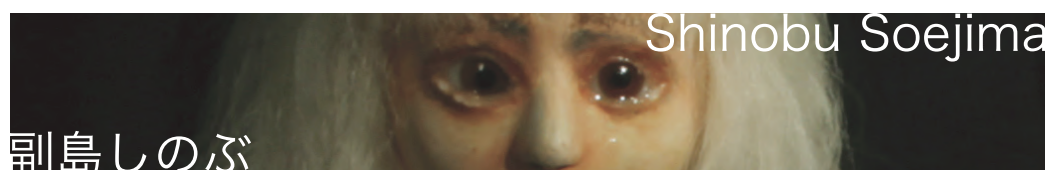
Erika Kobayashi

小林エリカ



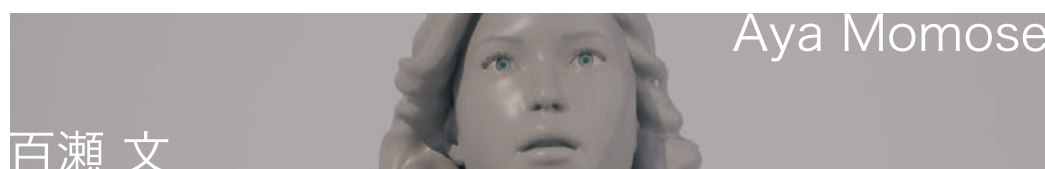
Sputniko!

スプツニ子!



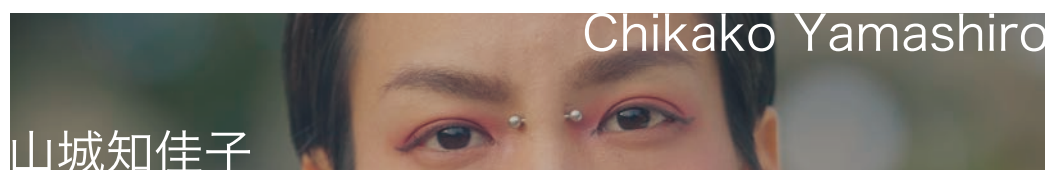
Shinobu Soejima

副島しのぶ



Aya Momose

百瀬 文



Chikako Yamashiro

山城知佳子



YUKI YUKI

ユウキユキ



乾 真裕子 Mayuko Inui

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程在学。フェミニズムの視点によるパフォーマンスを用いた映像作品を制作。母親との対話を通して生まれた《月へは帰らない》(2020)を卒業・修了作品展に出品し、平成芸術賞を受賞。



遠藤 麻衣 Mai Endo

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻博士後期課程在学。自身の結婚をテーマにした《アイ・アム・ノット・フェミニスト!》(2017)をはじめ、演劇や映像など自らの身体を通じた表現によって、社会規範に対する軽やかな問題提起を行う。



菅 実花 Mika Kan

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程在学。ラブドールの妊娠をテーマにした《ラブドールは胎児の夢を見るか?》シリーズで注目される。未来の生殖の可能性や、人と人形の境界を探る作品を発表している。



金 仁淑 Insook Kim

漢城大学芸術大学院西洋画科写真映像コース修了。自身の身近にある在日コリアンのコミュニティに焦点を当て、家族や朝鮮学校を取材した写真インスタレーションで注目される。ドイツに渡った韓国系移民を撮った作品など、テーマをグローバルに展開させている。



鴻池 朋子 Tomoko Konoike

芸大卒業後、おもちゃと雑貨の企画に携わり、現在もその延長で絵画、彫刻、映像、手芸など様々な手法でのインスタレーションや、気候や地形をも取り込んだサイトスペシフィックな表現で芸術の根源的な問い直しを試みている。



Photo: Mie Morimoto

小林エリカ Erika Kobayashi

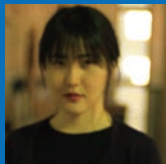
東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。著書に小説「トリニティ、トリニティ、トリニティ」「マダム・キュリーと朝食を」、コミックに「光の子ども1-3」など。核の歴史における女性科学者の人物像に迫るなど、独自の視点によって過去と現在をつなぐ。

表紙イメージ: ©「ちくま」 design: Naoko Nakui



スプツニ子! Sputniko!

ロイヤル・カレッジ・オブ・アートデザインインタラクションズ専攻修了。東京藝術大学美術学部デザイン科准教授。ジェンダーとテクノロジーの関係性をテーマに、男性が中心の科学や医学の世界に疑問を投げかけ、オルタナティブな提案を作品化する。



副島しのぶ Shinobu Soejima

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻在学。アジアの民間伝承や民俗文化をリサーチし、民族や宗教、時代を超えて人々が共有するイメージを人形アニメーションや立体作品を通して表現する。



百瀬 文 Aya Momose

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。撮影者と被写体の関係性やアイデンティティの曖昧さを映像を通して表現する。コミュニケーションの「ズレ」や「はざま」に生じる不確かさと可能性に着目する。



Photo: Ryudai Takano

山城知佳子 Chikako Yamashiro

沖縄県立芸術大学大学院環境造形専攻修了。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。写真や映像、インスタレーションを通して太平洋戦争や米軍基地などの沖縄特有の問題を掘り下げる。舞台芸術や映画など精力的に活動領域を広げている。



ユウキユキ YuKI YUKI

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻博士後期課程在学。コスプレ、アイドル、BLなどのサブカルチャーに関わりながら、自分と社会との間に存在するフィルター「欲望の受け皿」に着目する。また母と娘の間に生じる束縛や閉塞感を表す作品も発表している。

11人の女性アーティストによる差異を超える試み

身体、ジェンダー、ジェネレーション、国、政治、環境、時代。自分と他者の間にあるさまざまな違いを尊重し、物理的・心理的距離を超越して異なるものたちが出会い、交流し、理解しあうことはできるのでしょうか。

本展で紹介する11人の女性アーティストたちは、多様な視点と手法を用いて、あらゆる境界を超える試みを行っています。男と女、人間と非人間、過去の人物や家族をユニークな観点からみつめなおし、性や種、場所や時代を超越した新たな関係性を探求します。

アーティスト一人ひとりが人生の中で切実に感じてきた思いや痛み、経験からは、それぞれの「歌」が聞こえてくるようです。その声に耳を傾けながら、未来へと向かう多様な価値と希望を探ります。

彼女たちは歌に

Listen to Her Song
08.18.2020 TUE. – 09.06 SUN.
Noon – 6 pm

参加アーティストとゲストによるトークイベントを予定しています。情報はホームページに掲載します。

<https://listen-to-her-song.geidai.ac.jp/> (展覧会公式ホームページ)

会場：東京藝術大学美術館陳列館

東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学 (美術学部)

会期：2020年8月18日(火) – 9月6日(日) ※月曜休館

時間：12:00 – 18:00

主催：「彼女たちは歌う」実行委員会

助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2020

公益財団法人 花王芸術・科学財団

東京藝術大学ダイバーシティ推進室

キュレーター：荒木 夏実 (東京藝術大学美術学部准教授)

Venue: The Chinretsukan Gallery, Tokyo University of the Arts 12-8, Ueno Park, Taito-ku, Tokyo

Period: Aug 18th, 2020 (Tue.) – Sep 6th (Sun.) Closed on Mondays Open hours: Noon – 6pm

Organized by: "Listen to Her Song" Executive Committee

Granted by: TOKYO GEIDAI "I LOVE YOU" Project 2020 / The Kao Foundation for Arts and Sciences

TUA Office for Diversity & Inclusion

Curator: Natsumi Araki (TUA Associate Professor)

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、スケジュール等変更の可能性があります。
展覧会公式ホームページでご確認をお願いいたします。